

(記入例)

様式第1 (第7条関係)

当該研究事業年度 **公募要項3 . 照会先一覧の区分欄中に下線を付してある研究事業名**
 平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金 (_____ 研究事業) 研究計画書 (新規申請用)
 申請日現在在職の大臣名
 厚生労働大臣 厚 勞 太 郎 殿
 平成 16 年 ____ 月 ____ 日

住 所 〒100-0000 東京都 区幸町100
 申請者 ^{フリガナ}氏 名 ヤマダ タロウ **自署又は記名押印**
 生年月日 1950年1月1日生 印

当該研究事業年度 **公募要項3 . 照会先一覧の区分欄中に下線を付してある研究事業名**
 平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金による _____ 研究事業を実施したいので、
 次のとおり研究計画書を提出する。

研究の目的と成果が分かる課題名とすること。 **公募要項5.(1) に基づいた公募課題番号**

1. 研究課題名 (公募課題番号) : _____ に関する研究 (10110101)
 平成17年度中に研究事業を遂行するために必要な経費(要望額)

2. 当該年度の計画経費 : 金 60,000,000 円也

当該年度の実際に研究を開始する日から当該年度
 の実際に研究が終了する日を記入すること。

3. 当該年度の研究事業予定期間 : 平成17年6月1日から平成18年3月31日
 (3) 年計画の1年目

複数年度に亘る研究の場合に記入すること。
 なお、その期間は原則として3年を限度と
 する。

4. 研究者及び経理事務担当者

申請者 (研究者)	所属機関 (部局)	国立厚生労働セン ター 疾病研究部	所属機関 所在地	〒100-0000 東京都 区幸町200	
	連絡先 TEL・FAX E-mail	TEL 03-3333-1111(内線)100 FAX 03-3333-2222 E-mail AB-ABC@abc.go.jp	所属機関に おける職名	疾病研究部長	
	最終卒業学 校・卒業年 次及び学位	霞ヶ関大学医学部 昭和48年卒 医学博士	専攻科目	感染症内科	
経理事務 担当者	(フリガナ) 氏名	タナカ ハナコ 花子	連絡先 所属部・ 課名 TEL・FAX ・E-mail	〒100-0000 東京都 区幸町200 国立厚生労働セン ター 会計課 TEL 03-3333-1111 (内線)200 FAX 03-3333-3333 E-mail MK-EFG@abc.go.jp	研究の承諾 の有・無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
					事務の委任 の有・無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
					間接経費 の要・否 <input checked="" type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 否

経理事務に卓越した
 同一所属機関内の者
 を置くこと。

「2. 当該年度の計画経費」が3千万円以上
 の場合、間接経費を要望することができる。

5. 研究組織

研究者名	分担する研究項目	最終卒業学校・ 卒業年次・学位 及び専攻科目	所属機関及び 現在の専門 (研究実施場所)	所属機関 における 職名	研究費配 分予定額 (千円)
山田 太郎	研究(総括) の測定及び 分析	霞ヶ関大学医学部 昭和48年卒、医学 博士、血液内科	国立厚生労働セン ター 疾病研究部	部 長	50,000 10,000
鈴木 花子		丸の内大学医学部 、昭和61年卒、医 学博士、疫学	丸の内大学難病研 究所	助 手	

研究協力者
 の記入は必要ない。

配分予定額を記
 入、又は「主任研究者一括計上」と記入のこと。

- 1 -<----- 書類提出時には、ページを付すこと。

6. 研究の概要

・「7. 研究の目的、必要性及び期待される成果」から「10. 研究計画・方法及び倫理面への配慮」までの要旨を1,000字以内で図表等を用いたり箇条書きにして工夫するなど簡潔に記入すること。なお、研究の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記入又は添付すること。

・分担研究者がいる場合には、主任研究者が進めようとする目的の達成のために、主任及び分担研究者の受け持つ各研究がどのように関連し進んでいくかがわかるように明確に記入すること。

・複数年度に亘る研究の場合には、研究全体の計画と当該研究事業年度の計画がわかるように記入すること。

7. 研究の目的、必要性及び期待される成果

・厚生労働行政の課題との関連性を含めて1,000字以内で記入すること。

・なお、期待される成果については、当該研究によって直接得られる研究結果だけでなく、当該研究を行うことにより、国民、行政あるいは社会に対してどのような貢献（国民の保健・医療・福祉の向上等）ができるのかについても記入すること。

・複数年度に亘る研究の場合には、当該年度で達成できる予想成果も記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

8 . この研究に関連する国内・国外における研究状況及びこの研究の特色・独創的な点

- ・解決すべき課題について、他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかについて800字以内で記入すること。
- ・歴史的経過及び現状がわかるように記入すること。
- ・必要に応じて参考文献を示すこと。

9 . 申請者がこの研究に関連して現在までに行った研究状況

- ・「8 . この研究に関連する国内・国外における研究状況及びこの研究の特色・独創的な点」との関連がわかるように800字以内で記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

10. 研究計画・方法及び倫理面への配慮

- 研究目的を達成するための研究目標、研究仮説及びその解明方法を図表等を用いたり箇条書きにするなど工夫して1,600字以内で記入すること。
- 分担研究者がいる場合には、分担研究者の協力体制等についても記入すること。
- 複数年度に亘る研究の場合には、研究全体の計画と年次計画がわかるようにするとともに、当該年度で目指す研究目標、研究仮説及びその解明方法を記入すること。

倫理面への配慮

- 研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解（インフォームドコンセント）に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮などを必ず記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨記入するとともに必ず理由を明記すること。なお、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針、遺伝子治療臨床研究に関する指針、疫学研究に関する倫理指針、臨床研究に関する倫理指針及び申請者が所属する研究機関で定めた倫理規定等を遵守するとともに、あらかじめ当該研究機関の長等の承認、届出、確認等が必要な研究については、研究開始前に所定の手続きを行うこと。
- 人又は動物を用いた研究を行う際に、事前に申請者の所属機関の倫理委員会等において倫理面からの審査を受けた場合には、審査内容を必ず添付すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

1 1 . 申請者の研究歴等

・研究を行った研究機関名、共同研究者(又は指導を受けた研究者)、研究課題、研究期間等について記入すること。

発表業績等：著者氏名・発表論文名・学協会誌名・発表年（西暦）・巻号（最初と最後の頁）、特許の取得及び申請状況

(主任研究者)
 Suzuki I, Yamada T. Reduction in the incidence of type 2 diabetes with clinical intervention in Japan. Old England Journal of Medicine 2002;346:393-403.

主任研究者及び分担研究者ごとに、それぞれ過去3年間に学術誌等に発表した論文・著書のうち、主なものを選択し、直近年度から順に記入すること。また、本研究課題に直接関連した論文・著書については、著者氏名の前に を付すこと。さらに、過去の特許の取得及び申請状況を記載すること。

(分担研究者)

1 2 . 厚生労働科学研究費補助金の各研究推進事業に推薦する予定の研究者

年 度	外国人研究者招へい	外国への日本人研究者派遣事業	若手研究者育成活用事業 (リサーチ・レジデント)
平成17年度	1名	1名	2名
平成18年度	1名	1名	2名
平成19年度	1名	1名	2名

複数年度に亘る研究を行う場合に記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

13. 研究に要する経費

内訳については、公募要項6. 補助対象経費の単価基準額一覧表を参考に算出すること。

(1) 各年度別経費内訳

(単位：千円)

年 度	研究経費	内 訳							
		謝 金	旅 費	備品費	消耗品費	借料及び損料	賃 金	その他	委託費
平成17年度									
平成18年度									
平成19年度									
合 計									

複数年度に亘る研究を行う場合に記入すること。

(2) 備品の内訳(50万円以上の備品については、原則として賃借によること)

ア. 借料及び損料によるもの(賃借による備品についてのみ記入すること)

年 度	備 品 名	賃借の経費 (単位:千円)	数 量
平成17年度			
平成18年度			
平成19年度			

単価50万円以上の備品でリース等の賃借契約を行う予定のものを記入すること。

複数年度に亘る研究を行う場合に記入すること。

イ. 備品費によるもの(50万円以上の備品であって、賃借が不可能なものについてのみ記入すること)

年 度	備 品 名	単 価 (単位:千円)	数 量
平成17年度			
平成18年度			
平成19年度			

単価50万円以上の備品でリース等の賃借契約が不可能であり、やむを得ず購入する予定のものを記入すること。

複数年度に亘る研究を行う場合に記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

(3) 委託費の内訳

(単位：千円)

年 度	委 託 内 容	委 託 先	委 託 費
平成17年度			
平成18年度	複数年度に亘る研究を行う場合に記入すること。		
平成19年度			

14. 他の研究事業等への申請状況 (当該年度)

(単位：千円)

新規・継続	研究事業名	研究課題名	代表・分担等	補助要求額	所管省庁等	イフォート(%)
新規	研究費	に関する研究	代表	12,000	文部科学省	20%
当該年度に申請者が、国又は地方公共団体若しくはその他の団体へ研究費の申請を行おうとしている場合について記入すること。						

15. 研究費補助を受けた過去の実績 (過去3年間)

(単位：千円)

年 度	研究事業名	研究課題名	補助額	所管省庁等
平成16年度	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究事業)	に関する研究	3,000	厚生労働省
	助成金	に関する研究	30,000	文部科学省
平成15年度	研究費	に関する研究	5,000	文部科学省
	研究(分担)	に関する研究	5,000	環境省
平成14年度	研究費	に関する研究	5,000	(財) 財団

直前年度から遡って過去3年間において、申請者が補助を受けた主要な研究事業について記入すること。(分担研究として実施したものを含む。)

書類提出時には、ページを付すこと。

16. 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）第18条第1項の規定により補助金等の返還が命じられた過去の事業
（単位：円）

年度	研究事業名	研究課題名	補助額	返還額・返還年度	所管省庁等
年度					
年度					
年度	平成16年度以降に補助金等の返還を命じられたことがあれば、直前年度から順に記入すること。				
年度					
年度					

17. 政府研究開発データベース

(1) 研究者ID及びエフォート

研究者名	研究者ID	エフォート(%)
山田 太郎	2012300001	50
鈴木 花子	2023400002	30

(2) 重点研究分野及び研究区分

	コード番号	重点研究分野	研究区分
研究主分野	101	ライフサイエンス	ゲノム
研究副分野	102	ライフサイエンス	医学・医療
〃 2	104	ライフサイエンス	脳科学
〃 3	105	ライフサイエンス	バイオインフォマティクス



(3) 研究キーワード

	コード番号	研究キーワード
研究キーワード1	1	遺伝子
〃 2	2	ゲノム
〃 3	6	核酸
〃 4	7	細胞・組織
〃 5		システム生物学

「研究キーワード候補リスト」より該当するものを選択し、コード番号、研究キーワードを記入

該当するものがない場合30字以内で独自に記入

(4) 研究開発の性格

基礎研究	
応用研究	
開発研究	

基礎研究、応用研究、開発研究のいずれに当たるかを記載

記入上の留意事項は添付しないこと。

書類提出時には、ページを付すこと。